

(1) 平成12年時点		(2) 平成18年時点		(3) 平成21年時点		(4) 平成22年時点	
開発面積	約288.0ha	開発面積	約288.0ha	開発面積	約288.0ha	開発面積	約205.0ha
計画人口	約23,000人	計画人口	約13,000人	計画人口	約7,000人	計画人口	約10,000人
戸数	約6,600戸	戸数	約4,400戸	戸数	約2,400戸	戸数	約3,500戸
土工量(盛土)	約940万㎡	土工量(盛土)	約590万㎡	土工量(盛土)	約670万㎡	土工量(盛土)	約470万㎡
概算事業費	—	概算事業費	—	概算事業費	約339億円	概算事業費	約243億円
<p>○土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地・公園緑地ゾーンを主とし、一部学研施設用地を先行地区である高山地区第1工区に隣接して配置し、住宅施設及び自然環境を活かした(総合公園の整備)計画 <p>○造成計画(造成面積約240ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発面積約288ha全体を面整備する地区内土量バランスを図った造成計画 <p>○交通計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道163号から市道芝庄田線を利用し精華・西木津地区へ接続する高山東西線(仮称)、南北幹線として高山南北線(仮称)を整備する計画。 		<p>○土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を見据え、宅地需要を見極めた開発見直し計画 ・段階的整備を行う計画建設用地(現況換地)を約4割配置した計画 <p>○造成計画(造成面積約160ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画建設用地を大きく確保し、原地形の改変、土工量を抑え、地形的特性を活かした地形順応型の環境形成を図った造成計画 <p>○交通計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学研都市の大阪側のエントランスである学研北生駒駅と中心クラスターである精華・西木津地区を結ぶ、高山南北線及び高山東西線を地区のシンボル道路として位置づける。(現都市計画決定道路) 		<p>○土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学、研究開発型産業施設を中心とするまちづくり」への開発見直し計画 ・大規模な保全緑地と産業系施設用地の確保 ・計画建設用地(現況換地)を約1割配置した計画 <p>○造成計画(造成面積約190ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保全緑地を大きく確保し、原地形の改変、土工量を抑え、地形的特性を活かした地形順応型の環境形成を図った造成計画 <p>○交通計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山南北線の計画を市道芝庄田線を活用した計画に見直し ・学研北生駒駅への交通動線を市道芝庄田線に加え、高山東西線を県道枚方大和郡山線に延伸する計画を検討 		<p>○土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学施設中心のまちづくり」への開発見直し計画 ・事業の軽減を図るため、保全緑地を事業区域外 ・計画建設用地(現況換地)を約3割配置した計画 <p>○造成計画(造成面積約110ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南側区域を開発し道路高の見直しにより土工量を縮減 <p>○交通計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山南北線の計画を市道芝庄田線を活用した計画 ・学研北生駒駅への交通動線を市道芝庄田線に加え、高山東西線を県道枚方大和郡山線に延伸する計画を追加 	